

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年12月 5日

【評価実施概要】

| | | | |
|-------|--|-------|------------|
| 事業所番号 | 0172902371 | | |
| 法人名 | 有限会社 パリーツウドウ | | |
| 事業所名 | グループホーム プランタンIV | | |
| 所在地 | 旭川市2条通16丁目500番地の2 (電話) 0166-24-1182 | | |
| 評価機関名 | 有限会社 ふるさとネットサービス | | |
| 所在地 | 札幌市中央区北1条西5丁目3 北1条ビル3階 | | |
| 訪問調査日 | 平成21年12月2日 | 評価確定日 | 平成22年2月15日 |

【情報提供票より】 (平成21年11月17日事業所記入)

(1) 組織概要

| | | | |
|-------|--------------|----------------------|-------|
| 開設年月日 | 平成17年 9月 15日 | | |
| ユニット数 | 2 ユニット | 利用定員数計 | 18 人 |
| 職員数 | 19 人 | 常勤 9人, 非常勤 10人, 常勤換算 | 15.1人 |

(2) 建物概要

| | | |
|------|----------|---------|
| 建物構造 | 鉄筋コンクリート | 造り |
| | 2階建ての | 1~2 階部分 |

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

| | | | |
|---------------------|------------|----------------|--------------|
| 家賃(平均月額) | 15,000 円 | その他の経費(月額) | 水道光熱費 5,000円 |
| 敷金 | 有 (円) ・ 無 | | |
| 保証金の有無 (入居一時金含む) | 有 (円) ・ 無 | 有りの場合 償却の有無 | 有 / 無 |
| 食材料費 | 朝食 | 円 | 昼食 円 |
| | 夕食 | 円 | おやつ 円 |
| | または1日当たり | | 1,200 円 |

(4) 利用者の概要 (11月 17日現在)

| | | | |
|-------|-----------|---------|---------|
| 利用者人数 | 18 名 | 男性 2 名 | 女性 16 名 |
| 要介護1 | 2 名 | 要介護2 | 5 名 |
| 要介護3 | 3 名 | 要介護4 | 7 名 |
| 要介護5 | 1 名 | 要支援2 | 0 名 |
| 年齢 | 平均 83.8 歳 | 最低 61 歳 | 最高 95 歳 |

(5) 協力医療機関

| | |
|---------|-----------------------------|
| 協力医療機関名 | 旭川ペインクリニック病院、東郷整形外科医院、林歯科医院 |
|---------|-----------------------------|

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

市の中心部近くで、近所に昔ながらの銀座商店街や多数の病院がある地区に位置する2階建てのグループホームです。安心して利用できる料金設定となっていますが、同一建物にある接骨院の無料施術サービスが受けられるなどサービス向上に取り組んでいます。介護計画は家族の意見をもとに職員からも幅広く意見を収集してきめ細かな計画を作成し、日々の介護においても計画を常に意識しながら介護にあたっています。食事の献立は同一法人の中で食事を検討する職員の会があり、よく検討された献立を利用しながらも自分たちでアレンジして提供方法を工夫しており、おやつもできるだけ手作りのものを提供しています。職員間のコミュニケーションもよく、利用者が安心して生活できています。

【重点項目への取組状況】

| | | |
|------|---|---|
| 重点項目 | ① | <p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の取り組み事項「運営会議開催の定例化」「介護計画目標に基づく記録の記載」「重度化終末期に向けた方針作成」「日常的な外出支援の強化」については、すでに検討が行なわれ取り組まれています。その他については、継続検討中となっています。</p> <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価に関しては、職員全員で取り組むことが望ましく、サービス内容についての気付きや疑問、危機管理や予測、今後の改善への取り組みに活用されます。今後は、目標計画シートの活用により課題の抽出・目標の設定・取り組み内容の検討により、確実に実践される事を期待します。</p> |
| | ② | <p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>利用者・家族代表・包括センター職員・商店主・介護支援専門員・施設長・管理者を構成員として概ね3ヵ月毎に定期開催しています。会議においては活動報告や制度説明、意見交換も行ないホームの運営に活かしています。地域包括支援センター職員の運営推進会議への参加協力もあり意見もいただいております。サービスの質向上に反映出来るように取り組んでいます。今後は2ヵ月毎開催の予定となっています。</p> |
| 重点項目 | ③ | <p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>今年度から3ヵ月毎に発行している「プランタンIV通信」には多彩な写真の掲載や、暮らしぶりが記載されています。しかし、発行回数が少なく情報の内容が直近の部分に偏る傾向にあります。家族の安心を確保する為には、情報の共有やホームからの積極的な働きかけが必要です。訪問時の日常の報告は不可欠ですが、そのほかに毎月の通信や個別のお便りで、エピソードなどを伝え、信頼関係をより深めるよう期待します。</p> |
| 重点項目 | ④ | <p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>職員は日頃から地域と馴染める生活作りに努めています。利用者と一緒に近くを散歩する時などは積極的に声かけするなど、家族とともに顔馴染みになれるように心がけています。町内会の解散により、関わりに苦慮していますが利用者が地域と共に暮らし続けられるように、ホームが積極的にその基盤を作りあげていくことが大切です。ホームが孤立しないように、地域の一員として様々な地域にある社会資源に働きかけていく事を期待します。</p> |

2. 評価結果（詳細）

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------|------|---|--|----------------------|---|
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1. 理念と共有 | | | | | |
| 1 | 1 | ○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | ユニット毎に理念は掲示されていますが、職員の関わりは薄く、意義も伝わりにくくなっています。今後はホームとして、内容を明確にし、地域密着型サービスとしての役割を踏まえた内容となるよう検討中とのことです。 | ○ | 地域密着型サービスとしての意義を職員全員で理解し、地域での安心した生活の中での継続支援とホームと地域との関係を強化出来るように、これまでの理念を家族や利用者、職員が判りやすいものに見直すことを期待します。 |
| 2 | 2 | ○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | ホーム内の随所に理念が掲示されており、全体会議や各ミーティングにおいて管理者から内容を含めた説明が行なわれています。職員は、日々意識することで、具体的なケアの実践に活かせるように取り組んでいます。 | | |
| 2. 地域との支えあい | | | | | |
| 3 | 5 | ○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 職員は地域に根ざす大切さを理解しており、利用者と一緒に近くを散策する時などは積極的に声かけするなど、日頃から地域と馴染める生活作りに努めています。しかし、町内会の解散により働きかけに苦慮しています。 | ○ | 利用者や家族が地域と共に暮らし続けられるようにするには、ホームが積極的にその基盤を作りあげていくことが大切です。ホームが地域の一員として教育施設や文化サークルなど、地域に幅広く働きかけていくことを期待します。 |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | | |
| 4 | 7 | ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | 評価の意義や目的を職員は理解していますが、今回は施設長、管理者、責任者がまとめて作成しています。職員全員が参加しての自己評価には至っていません。 | ○ | 自己評価に関しては、職員全員で取り組むことが望ましく、サービス内容についての気付きや疑問、危機管理や予測、今後の改善への取り組みに活用されます。今後は、目標計画シートの活用により課題の抽出・目標の設定・取り組み内容の検討により、確実に実践されることを期待します。 |

旭川市 グループホーム プランタンⅣ

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------|------|--|---|----------------------|---|
| 5 | 8 | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 利用者・家族代表・地域包括支援センター職員・商店主・介護支援専門員・施設長・管理者を構成員として概ね3ヵ月毎に開催しています。会議では活動報告や制度説明、意見交換も行ないホームの運営に活かしています。今後は2ヵ月毎に開催する予定です。 | | |
| 6 | 9 | ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | 行政には疑問点について問い合わせ相談を行ったり、市主催の研修会に参加しています。地域包括支援センター職員の運営推進会議への参加協力もあり意見もいただいています。関わりを持つことで、サービスの質向上に反映出来るように取り組んでいます。 | | |
| 4. 理念を実践するための体制 | | | | | |
| 7 | 14 | ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている | 今年度から3ヵ月毎に発行している「プランタンⅣ通信」には多彩な写真や、暮らしぶりが載せられています。しかし、発行回数が少なく情報の内容が直近の部分に偏る傾向にあります。一人ひとりのお便りも少なく家族への報告を増やしたい意向です。 | ○ | 家族の安心を確保する為には、情報の共有やホームからの積極的な働きかけが必要です。訪問時の日常の報告は不可欠ですが、そのほかに毎月の通信や個人別のお便りでエピソードなどを伝え、信頼関係をより深められるよう期待します。 |
| 8 | 15 | ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 職員は日頃から来訪時の面会を通して家族との交流を図り、家族が気軽に意見・要望等を伝えられるような雰囲気作りに努めています。要望については直ちに検討し希望に添えるようにしています。 | | |
| 9 | 18 | ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 職員の離職を減らし、定着率が高くなるよう努力しています。職員は日頃から、利用者のダメージに繋がることがないように対応に心がけています。 | | |

旭川市 グループホーム プランタンⅣ

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------------|------|---|--|----------------------|---|
| 5. 人材の育成と支援 | | | | | |
| 10 | 19 | ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 施設長、管理者は人材育成の重要性を認識しており機会あるごと外部研修に参加しています。参加後も会議等で職員に報告が行なわれ共有も図られています。しかしその他の職員は、一人ひとりの知識や経験に応じた外部研修に参加することが少なく、研修計画の作成もされていません。 | ○ | 職員が、サービスの質を向上させていけるように、経験や習熟度に応じ学びの機会を得られるよう、運営者はホームとして計画的に研修の機会を確保する必要があります。職員が、働きながら研修に参加出来るような方策を検討されるよう期待します。 |
| 11 | 20 | ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 施設長、管理者などは、市主催の研修やその他の会議参加で交流機会があります。その他の職員は、特別養護老人ホームの見学はありますが、地域密着型他ホーム訪問・見学・交流は少なく、取り組みを前向きに検討しています。 | ○ | 地域密着型サービスとしてホームの質を高めるためには、職員同士が他ホームとの交流や連携を深めることも必要です。地域包括支援センターとの連携でネットワーク作りから交流に繋げたり、ホームから相互交流の働きかけなど、積極的に取り組まれることを期待します。 |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | | |
| 12 | 26 | ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 各機関から利用希望者についての情報収集から始め、自宅を訪問し利用希望者や家族と面談し、その後家族にホームに見学に来ていただいています。生活を体験していただくことで職員と顔馴染みになり、ホームの雰囲気を感じて安心していただけよう努めています。 | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | |
| 13 | 27 | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | 利用者一人ひとりの経験や得意なことを見極め、役割を發揮できる場面作りの支援が行なわれています。利用者から生活の知恵や料理の味付け、昔話を一緒に聞くことで共感し、利用者と一緒に支え合う関係を築いています。高齢化や重度化していく中で今後の取り組みを検討しています。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---------------------------------------|------|---|--|----------------------|-----------------------------------|
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | | | |
| 14 | 33 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | アセスメントシートを活用し、利用開始時から開始後も継続して利用者の生活情報や心身の状況を収集記載しています。職員は家族の意見や、日々の暮らしの中から利用者の希望・意向の把握に努め、関わりには意欲的に取り組み利用者の生活支援に努めています。 | | |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | | |
| 15 | 36 | ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している | 毎月開催される会議で、積極的に意見交換が行なわれ、計画作成者はそれをまとめ、次回の計画作成につなげています。日報の記載方法も改善され、介護計画の内容に連動しています。家族の来訪時に出された意見を反映し、利用者本位の計画作成に努めています。 | | |
| 16 | 37 | ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 基本的に6ヵ月に1度の見直しを行なっています。全体会議や各ユニット会議において経過記録や職員の意見に基づき評価を行ない、新しい計画書が作成されています。また、利用者の状態変化に応じて、その都度見直しを行ない、作成後には家族に直接説明し、確認後に同意のサインをいただいています。 | | |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | | |
| 17 | 39 | ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | 通院時の送迎や付き添いなど、利用者の希望に応じた柔軟な支援をしています。必要な物品の買出しや散歩、その他利用者の要望に応じた支援を行なっています。 | | |

旭川市 グループホーム プランタンⅣ

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------------|------|---|--|----------------------|-----------------------------------|
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | | |
| 18 | 43 | ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 職員は利用者の希望する医療機関への通院に同行し、主治医への状態の報告、聞き取りを行ない家族にも報告しています。安定した状態の時には薬取りなどの支援も行ない、適切な医療が受けられるように対応しています。 | | |
| 19 | 47 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 重度化や終末期に向けた細かい指針が用意されており、家族と方針を共有し同意をいただいています。関係医療機関と連携を図ることにより、今後予想される看取り・重度化・終末期の場面でも適切に対応できるように検討しています。 | | |
| Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | | | |
| (1)一人ひとりの尊重 | | | | | |
| 20 | 50 | ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | 職員は利用者の誇りや自尊心を損ねることのないような声かけや対応を心がけています。また、写真の掲載や名前の表示、書類取り扱いや管理についてもプライバシー保護が徹底されています。 | | |
| 21 | 52 | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 基本的に一日の流れはありますが強制することなく、一人ひとりの体調や生活歴を尊重し、その人らしい生活となるよう支援しています。室内での軽い運動や近隣の散策・買物等、職員と共に過ごす時間、自分の時間づくりを大切にしています。 | | |

旭川市 グループホーム プランタンⅣ

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------------------------|------|---|--|----------------------|-----------------------------------|
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | | |
| 22 | 54 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 調理・後片付けなどを一緒に行ない、食事が楽しみの一つとなるように工夫されています。出前をとったり、祝い事に特別メニューを設けるなど変化を付けています。職員も一緒に、同じ食事を会話を楽しみながら、あるいは介助しながら取っています。 | | |
| 23 | 57 | ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | ホームの設備上、曜日・時間が決められていますが、週に2回は入浴できるように支援しています。入浴が、生活の中で楽しみのひとつとなるよう、利用者の状態に合わせ安全に入浴支援しています。今後は回数を増やせるように検討しています。 | | |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | | |
| 24 | 59 | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 食事の準備や後片付け・掃除・買物など、生活の中で趣味や役割を持てるよう支援しています。機能低下はありますが、利用者一人ひとりの力を引き出せるように力を入れ、特にその人らしく生活できるよう支援しています。 | | |
| 25 | 61 | ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | 嗜好品の買物や利用者の意向による散歩などで外出機会を作っています。専用車両の配備により、柔軟な対応も可能になったことから、今後もより多くの外出機会が持てるように検討しています。 | | |
| (4) 安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 26 | 66 | ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | 職員全員が鍵をかけることの弊害を十分理解しており、日中は施錠していません。利用者が外出する様子が見られる時はさりげなく声かけし、利用者の安全面に配慮しながらの対応となっています。 | | |

旭川市 グループホーム プランタンⅣ

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------------------------|------|---|---|----------------------|--|
| 27 | 71 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | 消防署や設備会社の協力で年2回の避難訓練を行なっています。一方、救急救命講習やAEDの使用講習は、職員全員の参加には至っていません。また、昨年の指摘事項である備品の整備や地域への協力体制作りは引き続き取り組みを検討しています。 | ○ | 状況に合わせた利用者と共に進める避難訓練、備品の整備、日中、夜間を想定した訓練への取り組みは不可欠と考えます。職員の救命訓練受講、地域住民の方々への協力の働きかけや、避難場所の確保・周知など今後も継続し、十分な取り組みを期待します。 |
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | |
| 28 | 77 | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 利用者の食事・水分摂取量を個人別に記録しており、職員は情報を共有し体調管理を行なっています。メニューについては、利用者の好みや希望を採り入れ、法人主催の「食事部会」に参加して献立を検討しています。病状や摂取状況に応じた対応もしています。 | | |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | | |
| (1) 居心地のよい環境づくり | | | | | |
| 29 | 81 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 共用空間は明るく開放的であり、季節を感じるための出来る装飾等も工夫され、利用者にとって快適な居場所作りに配慮されています。採光・暖房・湿度等も適宜調節され、気になる臭いもなく、一日を過ごす憩いの場となっています。 | | |
| 30 | 83 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 居室は利用者一人ひとりの個性があり、使いやすいように家具やベット、仏壇が持ち込まれ、利用者が安心して暮らせるような工夫をしています。以前の生活と変わることのないよう、精神的負担を軽減できるような配慮がされ、衣類についても適宜入れ替えられています。 | | |

※ は、重点項目。